

株主の皆様へ

第62期 中間報告書

平成24年4月1日から
平成24年9月30日まで



未来へアクセス

NICHIDEN

株式会社 日伝

東証1部コード: 9902

新たな競争時代の幕開けに向けての年

専門総合商社として、景気に左右されない
体質の強化を目指した営業展開を図る。

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社第62期中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間会計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に持ち直しの動きが見られたものの、世界景気の減速や産業の空洞化、長引く円高やデフレの影響など、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、自動車関連は堅調に推移したものの、輸出の減少、製造拠点の海外移転などの影響により工作機械の受注が伸び悩み、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下で、当社においては『新たな競争時代の幕開けに向けての年』を基本方針として、創業者精神を機軸に刻々と変化する市場環境への対応、新たな販売商品・販路の拡大、お取引先ニーズに対して、専門総合商社としてよりスピーディーに、よりの確に対応し、景気に左右されない体質の強化を目指した営業展開を図ってまいりました。

海外市場、国内市場の両方面において
提供価値向上を図り、販売拡大へ取り組む。

具体的には、当社の強みである「FACE to FACE」直接対話を基本としつつ、製品情報サイト及び商品カタログ名である「MEKASYS」（<http://www.mekasys.jp>）を日伝ブランドとして浸透させるべく、昨年に引き続き支店・営業所単位でも積極的に展示会の開催や企画を行い、マーケティング活動などにも取り入れて注力してまいりました。また、製造業の海外移転に対応すべく海外営業基盤の強化・海外拠点の拡充を行うとともに、グローバルな人材の育成・採用にも注力いたしました。一方、国内市場での代理店の責務を果たすため、営業支援部隊の活用によりさらに踏み込んだニーズの発掘、物流体制の強化を行い、提供価値の向上を図り販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当中間会計期間におきましては、売上高406億7千2百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益16億4千2百万円（前年同期比19.0%減）、経常利益17億2千3百万円（前年同期比18.4%減）となり、中間純利益につきましては、10億4千5百万円（前年同期比15.2%減）と減収減益となりました。

直接対話を重視した対面営業を基本とし、取引先との親密性を高める。

今後の見通しにつきましては、世界経済の低迷や長引く円高の影響など引き続き不透明な状況にあります。国内において、政策の見通しが不安定な中、これまで堅調だった自動車関連においてもエコカー補助金の終了に伴う生産調整の影響が懸念されるなど先行きは極めて厳しい状況にあります。

こうした中で当社は、専門総合商社として多様化するニーズに対応すべく、積極的な展示会の開催やマーケティング活動の強化を図り、提供価値の向上を追求した取扱商品の拡大、市場の拡大など環境の変化に応じた営業展開に取り組んでまいります。具体的には、物流面での充実、強化を図るとともに、直接対話を重視した対面営業を基本として、お取引先との親密性をより一層高めてまいります。

海外事業については、チャイナ・プラスワンとしての東南アジアへの海外生産現場の移転が、さらに進むことが予想されることから、海外部を中心として市場調査を促進し、営業基盤の拡大に向けグローバルな人材育成も含め、スピード感をもって対応してまいります。

以上により通期の業績見通しにつきましては、当中間会計期間における業績の進捗や今後の景気動向を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、誠に遺憾ではございますが、平成24年5月14日に公表いたしました予想数値を売上高820億円、営業利益33億4千万円、経常利益34億7千万円、当期純利益20億9千万円にそれぞれ修正しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

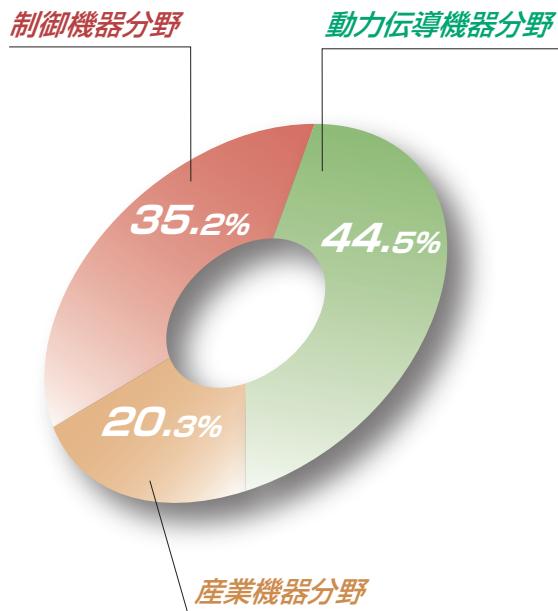
平成24年12月



代表取締役社長

福家利一

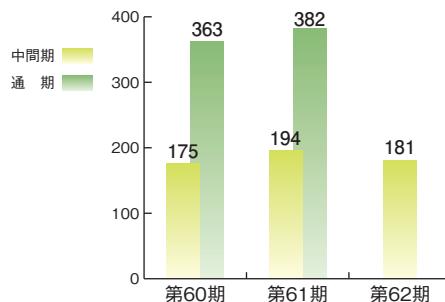
事業分野別売上高構成比



動力伝導機器分野

動力伝導機器分野では、歯車減速機、ベルト伝導用品、ベアリング、直動機器などが低調に推移した結果、売上高181億1千1百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



◆主要な取扱商品

減速機/変速機/伝導用品/軸受/工業用材料

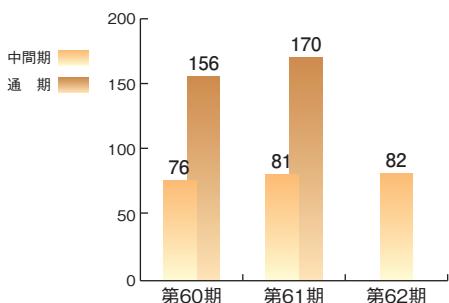
- 減速機/変速機
- チェーン伝導用品/ベルト伝導用品/歯車伝導用品/カップリング/その他伝導関連商品
- ベアリング/直動機器/ベアリングユニット/その他軸受関連商品
- 金属材料/合成材料/セラミック/新素材



産業機器分野

産業機器分野では、コンベヤ関連機器は堅調に推移しましたが、運搬機器、環境機器、ファンなどが低調に推移した結果、売上高82億4千2百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



◆主要な取扱商品

荷役運搬機器/モータ/環境機器/FAシステム/
包装・梱包システム

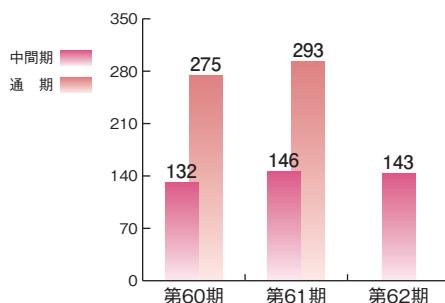
- コンベヤ/運搬機器/振動機/昇降機/保管関連機器/搬送システム/構造用システム機器/包装・梱包システム機器/その他荷役・運搬関連商品
- モータ/環境機器/ファン/集塵・洗浄機器/ポンプ/その他機械器具・工具関連商品



制御機器分野

制御機器分野では、ロボット、ナットランナなどの電気・電子は堅調に推移しましたが、空圧機器、ホース・チューブ・継手などが低調に推移した結果、売上高143億1千9百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



◆主要な取扱商品

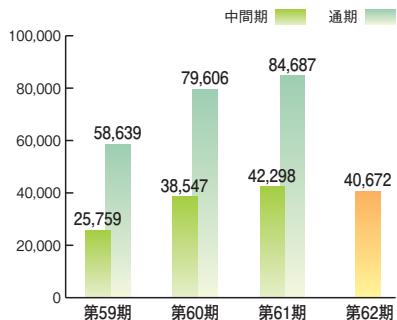
油圧機器/空圧機器/電気/電子

- 油圧機器/空圧機器/真空機器/ホース/チューブ/継手
- シーケンサ/表示器/アクチュエータ/センサ/スイッチ/画像処理/測定機器/計測機器/盤用機器/ロボット/ナットランナ/メカトロパーツ/配管機材/通信・ネットワーク機器/無停電電源装置/その他制御機器関連商品



売上高

(単位：百万円)



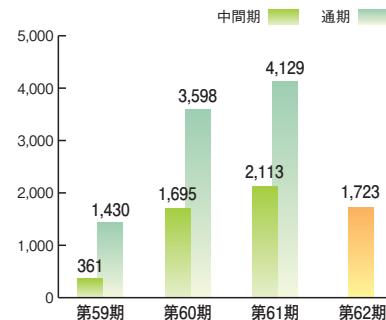
営業利益

(単位：百万円)



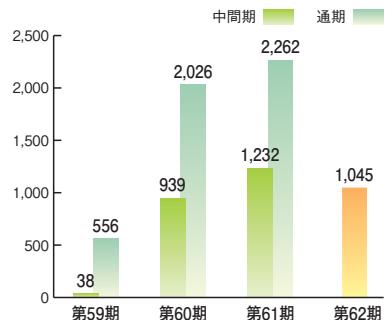
経常利益

(単位：百万円)



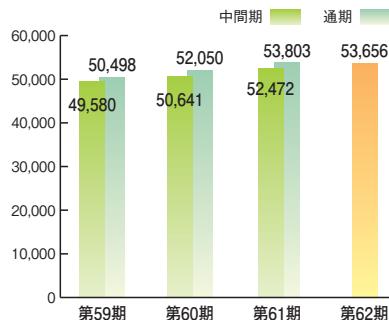
中間(当期)純利益

(単位：百万円)



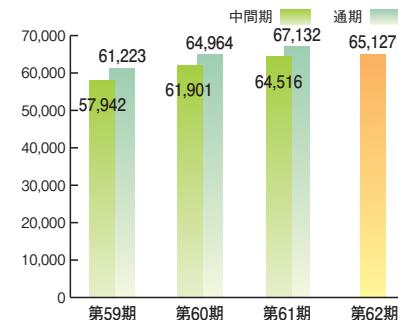
純資産

(単位：百万円)



総資産

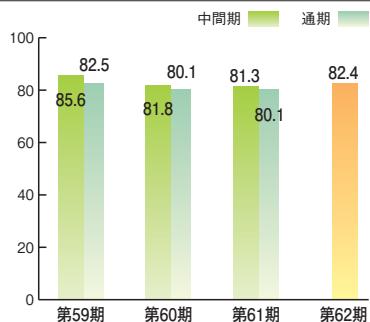
(単位：百万円)



	第59期中	第59期中	第60期中	第60期中	第61期中	第61期中	第62期中
	(平成21年9月)	(平成22年3月)	(平成22年9月)	(平成23年3月)	(平成23年9月)	(平成24年3月)	(平成24年9月)
売上高(百万円)	25,759	58,639	38,547	79,606	42,298	84,687	40,672
営業利益(百万円)	281	1,283	1,610	3,451	2,027	3,978	1,642
経常利益(百万円)	361	1,430	1,695	3,598	2,113	4,129	1,723
中間(当期)純利益(百万円)	38	556	939	2,026	1,232	2,262	1,045
純資産(百万円)	49,580	50,498	50,641	52,050	52,472	53,803	53,656
総資産(百万円)	57,942	61,223	61,901	64,964	64,516	67,132	65,127

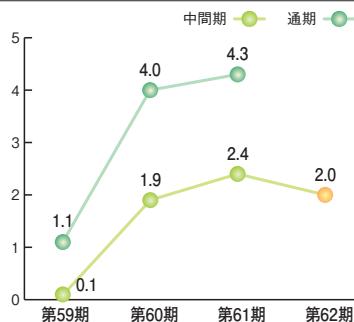
自己資本比率

(単位：%)



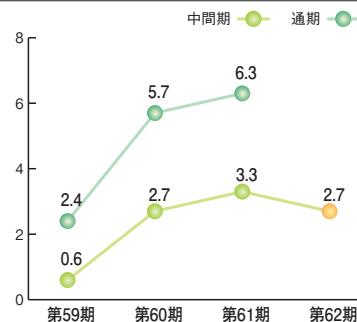
自己資本利益率 (ROE)

(単位：%)



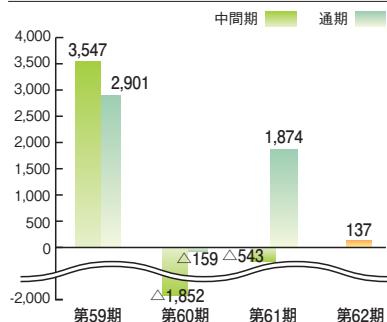
総資産利益率 (ROA)

(単位：%)



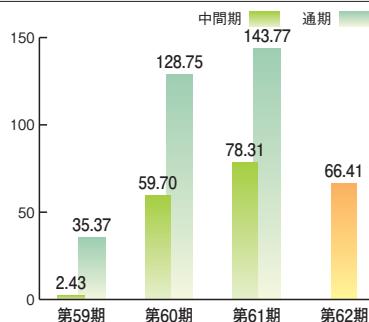
フリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



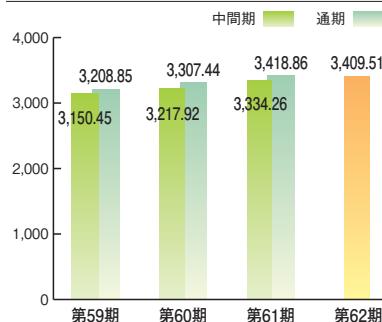
1株当たり中間(当期)純利益

(単位：円)



1株当たり純資産額

(単位：円)



	第59期中 (平成21年9月)	第59期 (平成22年3月)	第60期中 (平成22年9月)	第60期 (平成23年3月)	第61期中 (平成23年9月)	第61期 (平成24年3月)	第62期中 (平成24年9月)
自己資本比率(%)	85.6	82.5	81.8	80.1	81.3	80.1	82.4
自己資本利益率(%)	0.1	1.1	1.9	4.0	2.4	4.3	2.0
総資産利益率(%)	0.6	2.4	2.7	5.7	3.3	6.3	2.7
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	3,547	2,901	△1,852	△159	△543	1,874	137
1株当たり中間(当期)純利益(円)	2.43	35.37	59.70	128.75	78.31	143.77	66.41
1株当たり純資産額(円)	3,150.45	3,208.85	3,217.92	3,307.44	3,334.26	3,418.86	3,409.51

比較貸借対照表（要旨）

（単位：百万円未満は切捨て）

科目	第62期中	第61期中	第61期
	平成24年9月30日現在	平成23年9月30日現在	平成24年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	48,573	47,723	49,784
現金及び預金	24,028	22,844	24,431
受取手形	9,409	9,947	9,621
売掛金	10,366	9,889	10,574
商品	4,357	4,574	4,553
その他	427	487	624
貸倒引当金	△14	△20	△20
固定資産	16,553	16,793	17,347
有形固定資産	10,028	9,386	9,312
無形固定資産	144	262	198
投資その他の資産	6,380	7,143	7,837
資産合計	65,127	64,516	67,132
【負債の部】			
流動負債	8,471	9,262	10,263
支払手形	975	960	1,058
買掛金	5,845	6,401	6,861
その他	1,650	1,900	2,344
固定負債	3,000	2,781	3,065
負債合計	11,471	12,044	13,329
【純資産の部】			
株主資本	53,241	51,953	52,983
資本金	5,368	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283	7,283
利益剰余金	41,150	39,862	40,892
自己株式	△560	△560	△560
評価・換算差額等	414	519	820
その他有価証券評価差額金	414	519	819
繰延ヘッジ損益	-	-	0
純資産合計	53,656	52,472	53,803
負債純資産合計	65,127	64,516	67,132

比較損益計算書（要旨）

（単位：百万円未満は切捨て）

科目	第62期中	第61期中	第61期
	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	40,672	42,298	84,687
売上原価	34,875	36,162	72,456
売上総利益	5,796	6,136	12,230
販売費及び一般管理費	4,154	4,108	8,252
営業利益	1,642	2,027	3,978
営業外収益	258	255	498
営業外費用	176	170	348
経常利益	1,723	2,113	4,129
特別利益	5	6	6
特別損失	3	32	48
税引前中間(当期)純利益	1,726	2,087	4,087
法人税、住民税及び事業税	631	865	1,850
法人税等調整額	49	△9	△24
中間(当期)純利益	1,045	1,232	2,262

貸借対照表について

固定資産

固定資産は、前事業年度末に比べ7億9千3百万円減少し、165億5千3百万円となりました。これは、有形固定資産が7億1千6百万円増加したものの、投資その他の資産が14億5千6百万円減少したこと等によるものであります。

純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が4億4千万円減少したこと等により前事業年度末に比べ1億4千7百万円減少し、536億5千6百万円となりました。

損益計算書について

売上高

売上高は、世界景気の減速による輸出の減少、製造拠点の海外移転などにより前中間会計期間に比べ16億2千6百万円減少し、406億7千2百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円未満は切捨て)

科 目	第62期中	第61期中	第61期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	467	64	2,021
投資活動による キャッシュ・フロー	△330	△608	△146
財務活動による キャッシュ・フロー	△844	△595	△644
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△0	△0	1
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額(△)	△707	△1,138	1,230
現金及び現金同等物の 期首残高	23,931	22,700	22,700
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	23,224	21,562	23,931

キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、4億6千7百万円（前年同期において得られた資金6千4百万円）となりました。これは主に、法人税等の支払額が10億8千3百万円、仕入債務の減少額が9億3千1百万円あったものの、税引前中間純利益が17億2千6百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、3億3千万円（前年同期において使用した資金6億8百万円）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が5億4百万円あったものの、固定資産の取得による支出が9億1千8百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、8億4千4百万円（前年同期において使用した資金5億9千5百万円）となりました。これは、配当金の支払額が7億8千6百万円あったこと等によるものであります。

中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円未満は切捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成24年4月1日残高	5,368	7,283	40,892	△560	52,983	819	0	820	53,803
中間会計期間中の変動額									
固定資産圧縮積立金の取崩			-		-				-
別途積立金の積立			-		-				-
剰余金の配当			△786		△786				△786
中間純利益			1,045		1,045				1,045
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)						△404	△0	△405	△405
中間会計期間中の変動額合計	-	-	258	△0	258	△404	△0	△405	△147
平成24年9月30日残高	5,368	7,283	41,150	△560	53,241	414	-	414	53,656

「生産性の向上と省力化への貢献～現場のカイゼンを形に!～」をテーマに、6月20日（水）～22日（金）に東京ビッグサイトにおいて開催されました「第16回機械要素技術展 M-Tech」に出展し、10月3日（水）～5日（金）にインテックス大阪において開催されました「第15回関西機械要素技術展 M-Tech KANSAI」に出展いたしました。

● 第16回機械要素技術展 M-Tech

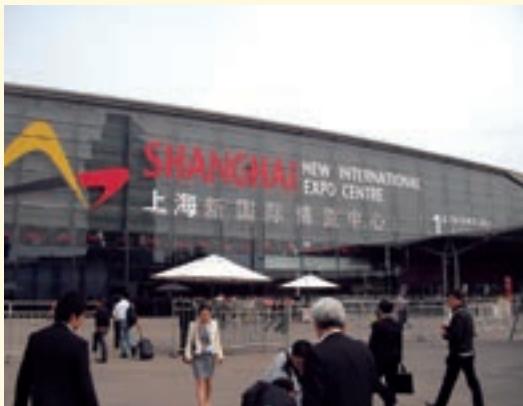


● 第15回関西機械要素技術展 M-Tech KANSAI



当社の子会社である日伝国際貿易（上海）有限公司は、10月29日（月）～11月1日（木）に上海新国際博覧中心にて開催されました「2012アジア国際動力伝導&制御技術展覧会」に出展いたしました。

●2012アジア国際動力伝導&制御技術展覧会



会社の概要 (平成24年9月30日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	昭和27年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	745名

役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	西木 利彦
代表取締役社長	福家 利一
専務取締役	西木 利博 管理本部長
専務取締役	野村 純一 営業統括
常務取締役	森田 久孝 海外部長
取締役	榊原 恭平 MEシステム統括部長
取締役	酒井 義之 西部ブロック長
取締役	岡本 賢一 中部ブロック長
取締役	寒川 睦志 営業本部長兼営業推進部長
常勤監査役	河村 竹佳
常勤監査役	石谷 勇児
監査役	小山 章松
監査役	古田 清和

(注) 監査役のうち、小山章松、古田清和の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。なお、当社は古田清和氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

ホームページのご案内

当社ホームページ



<http://www.nichiden.com>

IR情報

Webカタログの製品情報サイト



「MEKASYS(メカシス)」は、取扱商品50万点以上の仕様・価格や図面データも閲覧できる製造業に関わる人たちのためのメカニカルパーツ&システム専門のWebカタログです。



<http://www.mekasys.jp>

電子購買サービス



「PROCUEbyNET(プロキュバイネット)」は、ものづくり現場における工場用MRO商品(生産用副資材)受発注のための会員制ポータルサイトです。



<http://www.procuebynet.com>

事業所

■ 東部ブロック

東京支店	〒115-8567	東京都北区神谷3-47-4
札幌営業所	〒065-0016	札幌市東区北16条東3-2-5
北上営業所	〒024-0061	岩手県北上市大通り2-3-12
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町2-12-7
郡山営業所	〒963-8851	福島県郡山市開成6-201-2
新潟営業所	〒950-0812	新潟市東区豊2-1-9
水戸営業所	〒310-0913	茨城県水戸市見川町2563-16
小山営業所	〒323-0042	栃木県小山市外城110-34
高崎営業所	〒370-0046	群馬県高崎市江木町1458-1
埼玉営業所	〒331-0804	さいたま市北区土呂町2-12-3
上田営業所	〒386-0005	長野県上田市古里79-8
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-10-29
横浜営業所	〒221-0834	横浜市神奈川区台町7-8-101
南関東営業所	〒243-0434	神奈川県海老名市上郷959-1
西東京営業所	〒197-0012	東京都福生市加美平2-19-8

■ 西部ブロック

大阪支店	〒542-8588	大阪市中央区上本町西1-2-16
八日市営業所	〒527-0039	滋賀県東近江市青葉町1-44
滋賀営業所	〒520-3024	滋賀県栗東市小栴6-9-2-1-1
京都営業所	〒612-8445	京都市伏見区竹田浄菩提院町97
東大阪営業所	〒578-8511	大阪府東大阪市本庄西2-3-27
北大阪営業所	〒532-0004	大阪市淀川区西宮原2-7-38-701
堺営業所	〒590-0943	堺市堺区車之町東2-2-19
神戸営業所	〒652-0805	神戸市兵庫区羽坂通3-7-15
姫路営業所	〒670-0056	兵庫県姫路市東今宿5-2-6
岡山営業所	〒700-0972	岡山市北区上中野2-1-7
福山営業所	〒721-0955	広島県福山市新漣町1-13-16
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4-14-21
四国営業所	〒761-0301	香川県高松市林町2027-5
九州支店	〒812-9551	福岡市博多区東那珂1-18-11
北九州営業所	〒804-0012	北九州市戸畑区中原東2-6-15
熊本営業所	〒862-0913	熊本市東区尾ノ上1-9-20

■ 物流センター

東部物流センター	〒339-0042	さいたま市岩槻区府内3-1-5
中部物流センター	〒485-0829	愛知県小牧市小牧原4-111
西部物流センター	〒578-8533	大阪府東大阪市吉田本町1-3-30

■ 中部ブロック

名古屋支店	〒466-8533	名古屋市昭和区白金2-10-7
富山営業所	〒930-0831	富山県富山市鍋田11-18
北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町3-18-13
松本営業所	〒390-0828	長野県松本市庄内2-2-21
静岡営業所	〒422-8027	静岡市駿河区豊田3-2-34
浜松営業所	〒435-0045	浜松市中区細島町6-1
豊橋営業所	〒441-8028	愛知県豊橋市立花町46-2
岡崎営業所	〒444-0863	愛知県岡崎市東明大寺町3-2
小牧営業所	〒485-0829	愛知県小牧市小牧原4-111
鈴鹿営業所	〒510-0236	三重県鈴鹿市中江島町20-20



東部物流センター



中部物流センター



西部物流センター



- 東部ブロック
- 中部ブロック
- 西部ブロック

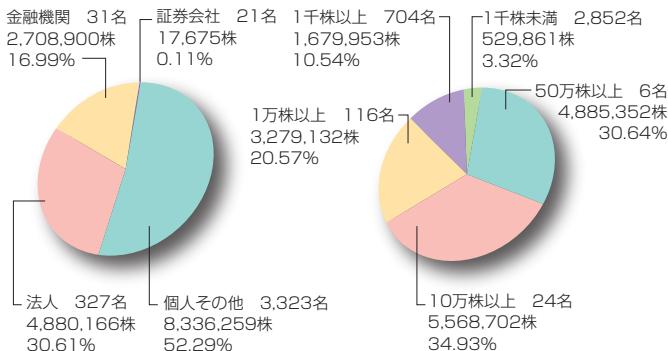
株式の状況 (平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式の総数…………… 63,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 15,737,146株
(自己株式205,854株を除く)
- 株主数…………… 3,702名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日伝共栄会	1,593	10.12
日伝仕入先持株会	774	4.92
西木 進	743	4.72
株式会社利双企画	700	4.44
株式会社みずほ銀行	550	3.49
有限会社ニシキ興産	523	3.32
株式会社百十四銀行	491	3.12
日伝従業員持株会	486	3.09
西木 利彦	414	2.63
西木 利博	372	2.36

(注) 持株比率は自己株式(205,854株)を除いて計算しております。

●所有者別株式分布状況 ●所有株式数別株式分布状況



株主優待制度のお知らせ

日頃のご愛顧にお応えするため、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のご住所へ次のとおりご優待品を12月中に贈呈させていただきます。

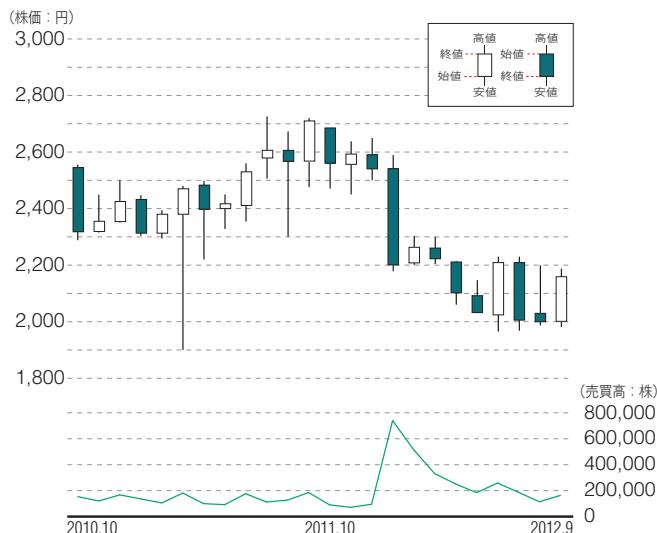


■1,000株以上所有(一律)
《こだわり厳選セット・無洗米2kg詰め3パック》
幸南食糧(株) <http://www.kohnan.co.jp>



■100株以上1,000株未満所有(一律)
《讃州育ち本切りセット・さぬきうどん300g×3袋(9人前)》
(株)めりけんや <http://www.merikenya.com>

●株価および株式売買高の推移



社会貢献活動（設立60周年記念行事）

● にちでんの森（協働の森づくり体験）を行っています。



伝えます 未来にやさしい環境を
ACCESS to ECO
～環境をシステムで創造する企業日拓～

設立60周年記念行事の一環として森林保全、山地災害の防止、地球温暖化防止など環境保全に努めることを目的に、香川県が推奨する「フォレストマッチング推進事業～協働の森づくり～」に参加し、平成23年11月から5か年をかけて創業者（西木 利吉）の故郷の近くでもある香川県木田郡三木町の森林において植林、間伐、枝打ちなどの森づくり活動「にちでんの森 ～ACCESS to ECO～」を推進しています。

第3回活動の様相



● 「間伐および枝打ち」の作業を行いました。

平成24年11月10日（土）に大阪（本社、東大阪）、その近郊の営業所（滋賀、京都、北大阪、堺、神戸、姫路）ならびに現地の四国営業所のボランティアメンバー約60人で香川県木田郡三木町大字奥山字猪ノ谷3194甲-6において「間伐および枝打ち」の作業を行いました。参加者は、ノコギリの扱いに苦慮しながら1本ずつ作業に取り組んでいました。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された所有株式数100株以上の株主様に対して当社指定粗品を贈呈いたします。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル） ホームページアドレス http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou
お取扱店		みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	上記お取扱店に加え、みずほ銀行の本店および全国各支店（みずほインベスターズ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

※みずほインベスターズ証券は、2013（平成25）年1月4日以降はみずほ証券となります。

【上場株式配当金の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、「支払通知書」の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

メカニカルパーツ&システム

MEKASYS

<http://www.mekasys.jp>

「MEKASYS」は、株式会社日伝の登録商標第5354848号です。

IRインフォメーション

IRに関するお問い合わせ先

当社ホームページIR関連のお問い合わせフォームより承っております。資料請求、ご質問、ご意見、ご要望などがございましたら、気軽にお問い合わせください。

■2012年のIRカレンダー

- 7月12日 ▶ 個人投資家向け会社説明会
場所：ホテルコムズ大阪（旧三井アーバンホテル大阪）中津
- 7月27日 ▶ 個人投資家向け会社説明会
場所：野村證券株式会社 上本町支店
- 8月3日 ▶ 2013年3月期第1四半期決算発表
- 8月22日 ▶ 2013年3月期第1四半期決算説明会 スモールミーティング
場所：JAビル304号室
- 11月12日 ▶ 2013年3月期第2四半期決算発表
- 11月14日 ▶ 2013年3月期第2四半期決算説明会
場所：LEVEL XXI（レベル21）シルバールーム

